

業務執行運営体制の見直しについて

CxO（チーフオフィサー）制度の導入および戦略担務の設置について



CxO制度の導入

成長戦略の実現を事業領域の枠を超え、スピード感を持ち事業部間の連携強化や資源配分の最適化を行うことを目的に、CxO制度を導入。

戦略担務の設置

各役員を担当部門における執行責任を負う従来の方式に加え、戦略目標の実行の加速を目的に、各役員へ具体的な戦略担務を設定。

- 経営目標の達成に向けて戦略を立案し、各戦略担務ごとの方向性を決定し、進捗をモニタリング。
- 特に戦略目標である成長事業の創出、技術研究開発、財務戦略、資本政策等の実行を加速させるため、必要な指導を実施。
- 成長戦略の実現に向けてプライオリティを考え、最適な資源配分を決定。
- 各戦略担務の成長/事業投資において、適切に投資判断基準を充たしているか否かの判断を行う。

取締役会

Chief Officer制度の導入

- ✓ コーポレートガバナンス体制を強化しつつ、成長戦略の実現に向けてスピード感を持って経営を実践

社長 兼 CEO
(最高経営責任者)

CTO（最高技術責任者）

技術戦略を策定および技術的方向性を決定し、実行を監督することで新規/技術研究開発の推進に貢献。

CSO（最高戦略責任者）

経営戦略を立案・実行プロセスを策定し、各戦略担務の実行を監督することで、企業の経営効率に貢献。

CFO（最高財務責任者）

財務戦略を策定・実行し、成長/収益性向上に向け資金計画や投資判断を行うことで企業価値向上に貢献。

成長戦略による企業価値の増大と適切な資本効率の実現を達成

ESG経営の推進による経営の盤石化と人的資本経営の加速

戦略担務の設置

成長事業創出

事業開発推進
(M&A含)

研究開発推進

GPU設備
投資抑制

コーポレート
ガバナンス強化

人的資本投資
ダイバーシティ推
進

上場維持
資本政策
財務戦略

BPR推進

最終目標である株主価値向上に向け、総力を挙げて推進